

にじいろ

札幌市立元町小学校 きこえの教室

令和8年度6・7月号

令和8年5月12日

スポーツの日や運動会への取組が、多くの学校で始まっていることと思います。気温が上がり、汗をかきやすくなると、補聴器の調子が悪くなることがあります。また、耳穴も蒸れてかゆくなることもあります。汗をかいたら耳の周辺をハンカチで拭く習慣が身につくといいですね。6月後半からはプール学習も始まります。裏面に配慮事項について記載していますので、保護者の方と担任の先生とで一度御確認いただければと思います。よろしくお祈りいたします。



月	火	水	木	金
6/1	2	3	4	5
8 元町スポーツの日振替 休業日(指導休み)	9 札教研 (午後の指導は休み)	10	11	12
15	16	17	18	19
22	23	24	25	26
29	30	7/1	2	3
6	7	8	9	10
13	14	15	16	17
20 海の日	21 ケース会議 (指導休み)	22 ケース会議 (指導休み)	23 ケース会議 (指導休み)	24 1学期 終業式

6/6(土)
元町
スポーツ
の日



夏季休業日 7/25～8/23 ケース会議 8/25～28 2学期の指導開始日は8/31です

担任の先生方へ

～夏と聞こえについて～

学年や専科の先生、関係する先生方にも情報の共有をお願いします。

これからの季節は外で体育の授業をすることが多くなると思います。また、6月下旬から7月には水泳学習が始まります。そこで今回は「屋外の活動」「水泳学習」「夏の教室」での配慮についてまとめました。

屋外での活動について ～グラウンドで音を聞くのは大変です～

広いグラウンドでの体育の学習は、指導する先生がいつもより遠くなるだけでなく整列や集合のホイッスル、スピーカーから流れる音声や音楽など、音を合図に行動することがたくさんあります。音源が遠い、音の手がかりがつかみにくだけでなく、屋外では音が拡散したり近くを走る車や風の音が補聴器で増幅されたりして、かなり聞きとりにくくなります。音楽が鳴っている時に音声で指示を出しても、聞き取れないことがあります。周りの友だちに聞くことも離れていると難しく、かすかに聞こえてくる音を聞こうとしたり周囲の動きに合わせようとしたり・・・常にアンテナを張り情報をキャッチしようと気を配っています。

子どもがすぐに動けなかった時や不思議そうな表情の時には聞きとれなかったかもしれないと考えて下さい。そこで先生が近くでもう一度繰り返したり、周囲の子から伝えてもらったりすると安心して活動できることが多いです。

その他の手立てとしては次のようなことが考えられます。

※ 裏面もご覧ください。

<< 屋外活動時にお願いしたいこと >>

1. 大事なことは、聞きやすい場所で前もって伝える。(始まる前に教室で今日の予定を話しておく、表現の音楽を事前にCDなどにして渡し、家でも繰り返し聞いてイメージやタイミングをつかめるようにする、など。)
2. 音と同時に視覚的な合図を送る。(スターターピストルやホイッスルと同時に旗を振ったり拳手をしたりして知らせるなど、始めの合図を子どもと事前に相談して決めておく。)



…このような少しの配慮で、子どもたちは安心して参加できます。

<< 補聴器、人工内耳をつけている子どもへの声掛け >>

体育の後の授業などで子どもがよく聞こえていないように感じられることはないでしょうか。



疲れて集中力が下がってしまうこと、暑い日の活動で汗をかくと汗が補聴器にもたまり、聞こえを妨げたり補聴器の故障の原因になったりすることがあります。また、人工内耳も汗をかくと金属部分がさびて故障の原因になります。汗をかいた後の管理方法についてはご家庭や子どもに事前に確認していただき、いつもより聞こえていないような時は先生からも“補聴器や人工内耳を拭く、チューブの中の水を取る”など確認したことに合わせて一声かけてくださるとありがたいです。

水泳学習での配慮

プールはとても聞きづらい場所です。補聴器ははずさなくてはなりません(人口内耳の子どもは防水ケースを使って装着したまま入ることがあります)。また、プールは独特の音の反響があり軽度難聴や片耳難聴の子どもも先生の話がよく聞こえなくなります。水に入るという普段と違う活動で見通しがもちづらく、先生の声が聞こえにくいことが重なり、内心はドキドキしたり不安だったりしています。そこで例えば、

- ・大事な話は事前に教室で話したり内容を視覚的に伝えたりする。
- ・指示はできるだけ短い言葉や身振りをつけて伝える。
- ・先生の指示や水から上がる時やスタートの合図などは、ペアの子どもや周囲の子からすぐに伝えてもらうようにする。



などの配慮があると、安全に安心して水泳学習を楽しむことができます。

補聴器は水にぬれると故障してしまいます。補聴器の管理について、子どもがプールに入る時に補聴器を外すことを忘れていたと思ったら一声かけてください。また、耳や髪をよく拭かず補聴器をつけると聞き取りづらくなったり故障したりするため、子どもによっては保健室等でドライヤーを使用することがあります。対応について本人や保護者と事前に相談し、確認くださいますようよろしくお願いします。

※ ご家庭からも、お願いしたいことについては連絡帳などで確実に伝えてください。

夏の教室について

暑い季節になると、教室のドアや窓が全開という日も多くなります。窓を開けると外の空気が入って心地よく感じられますが、同時にグラウンドでの体育の授業の音や道路を走る車の音、上の教室のリコーダーの音や廊下での話し声などたくさんの音が教室の中に入ってきます。さらに扇風機の風やモーター音と、聞こえにくい子どもにとって、話を聞こうとしても周りの音が同じように耳に入ってきてしまって、何を話しているのか、誰が話しているのか、分からなくなってしまうことがあります。

周囲の音が大きい時にはできるだけ子どもの近くで話し、話の内容のポイントなどを見て分かるようにしていただけると、子どもはそれを手がかりにして授業に参加しやすくなります。騒音の入りにくい座席の位置も子どもの安心感につながります。子どもに「この席で大丈夫？」と確認していただけるとありがたいです。



また、外遊びなどで汗をたくさんかくと、補聴器の故障や耳鼻科疾患の原因になることがあります。ハンカチやタオルで汗を拭くよう、一声かけていただくと助かります。